



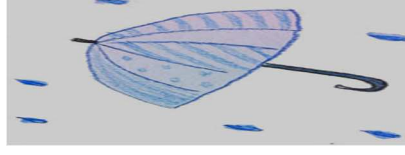
若草句会

塩川 雄三先生 選

六月 兼題 「入梅」 時の記念日 「落し文」 赤央柳

選者句

時の日の待合室の古時計



入選句

青墨の句ふ書斎や梅雨に入る

中野 洋子

金の糸赤央柳の強き蕊

平井 朝子

梅雨の入り字経する手のとぎれがち

三浦 まゆみ

学童の傘の波寄す入梅かな

小田 良子

七月 兼題 「夕焼」 「滝」 「プール」 同日葵

選者句

夕焼けを見てゐて疲れ忘れたる

入選句

夕焼が商店街を染めてをり

野口 喜代治

大会の始まるプール鏡なす

石村 葆子

滝しぶき少しの風に心地よし

住田 豊子

プールより健やかな声轟きけり

関 純子

水面をたたいて全国プールの子

東間 キミヨ

俳句

エッセー文学科 小森 知子 二句
幼子に追われて跳ねる青蛙
冷麦も茹でられ熱い鍋で舞う



文章表現を楽しむ科 小島 仁恵 一句
しんがりの足音さみし夏祭り

川柳

高1健福 松上 初美 二句
元式でも落ちこむ時に人並みさ
記念日に花一輪で惚れ直す

東部6期 有坂 美津枝 二句
米寿すぎ墓前で頼む我が居場所
しみ汁 二日酔にともう二杯

♥文章表現を楽しむ科♥ 四句
高大が無ければ曜日覚えかね 谷 たか子
初西瓜伸びた寿命の味がした 福島 慶子
何事も無いが良き日と赤まんま 小島 朋子
何かある主人の言葉多すぎる 高 春子

短歌

N高1美術 井上 恵子 一首
句い立 髪の乱れにひとすじの
首筋なでる風にやすらぎ

